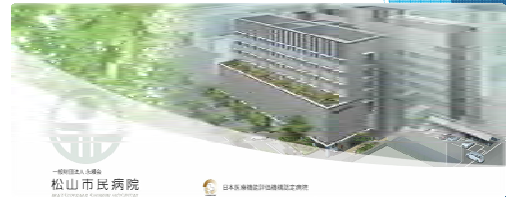


当院整形外科における 膝疾患パスの電子化への取り組み

松山市民病院 森本 麻里¹⁾ 溝田 園子¹⁾ 日野 美保¹⁾ 宮本 礼人²⁾
看護部¹⁾ 整形外科²⁾

当院紹介



開設主体：一般財団法人永頼会

病床数：355床

一般病床 314床 包括ケア病床 35床

ICU 6床

入院基本料

一般病棟入院基本料 10：1 包括ケア入院基本料 13：1

当院パス変遷

平成21年
クリニカルパス委員会設立
平成22年
クリニカルパス使用開始
12科81種類
平成23年
パス研究会・学会へ参加
平成26年4月
電子カルテ導入
電子パスへ移行
現在、11科72種類

整形外科	左膝前十字韧带再建術	頸椎前方固定術
	右膝前十字韧带再建術	左人工骨頭置換術
	左膝半月板切除	右人工骨頭置換術
	右膝半月板切除	左人工股関節置換術
	左大腿骨幹子部骨折	右人工股関節置換術
	骨接合術	
	右大腿骨幹子部骨折	膝椎弓切除
	骨接合術	
	左人工股関節置換術	膝椎間板ヘルニア
	右人工股関節置換術	

目的

- ①紙パスから電子パス移行となり、昨年の研究結果を基にパスの整備・電子パス作成を行ったので報告する
- ②平成26年4月より電子パス開始後、職員を対象にアンケート調査を実施、使用状況と今後の課題について検討したので報告する

バリエーション集計（紙パス）

▶ 期間：平成25年4月～平成26年3月

▶ 対象：半月板切除術：21名 前十字韧带再建術：19名

▶ 半月板切除術 バリエーション13件（61%） 前年：34%

- ▶ 内容：安静度変更 4件 創処置追加 1件
- ▶ 早期退院 3件 早期シャワー浴可 1件
- ▶ 採血追加 2件 バリン抜去延期 1件
- ▶ 術式変更 1件
- ▶ 前十字韧带（ACL）再建術 バリエーション5件（26%） 前年：65%
- ▶ 内容：内服薬変更 3件 術式変更 1件
- ▶ 早期退院 1件

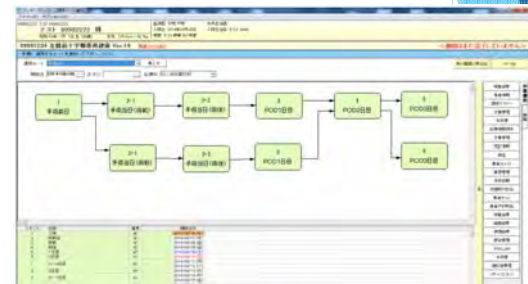
バリエーション分析（紙パス）

- ▶ 半月板切除術
 - ・術後安静度はギャッチアップを30度→30～60度に変更
 - ・早期退院はパスを14日→11日変更後
 - ・検査の変更・追加は件数増えてくれば追加・修正検討する
- ▶ 前十字韧带再建術
 - ・早期退院はパスを24日→21日に変更後
 - ・内服薬変更は既往や本人希望によるもの変更不要
- ▶ 研究後のパス修正でバリエーション数は全体に減少

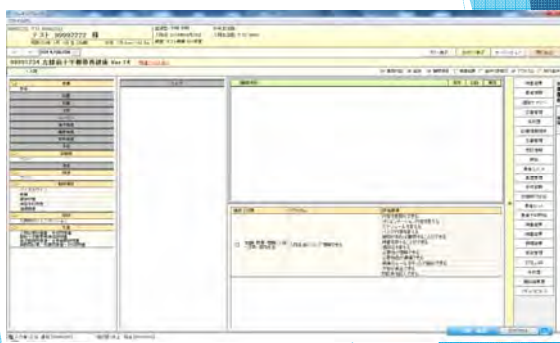
電子パスの作成

- ▶ マスターの整備・追加
- ▶ フローの作成
- ▶ 日めくりパスの作成
- ▶ オーバービューの作成
- ▶ 患者パスの作成

フロー作成



日めくりパス



オーバービュー

	前日 2014/07/28 (金)	当日 2014/07/29 (土)	1日目 2014/07/30 (土)	2日目 2014/07/31 (日)
		悪性副腎髄質腫瘍の症状・所見がない		悪性副腎髄質腫瘍の症状・所見がない
手術について理解できる		術前のコントロールができています		術後のコントロールができています
経食	経食	経食	経食	経食
病前処置	病前処置	術前処置	術前処置	術前処置
点滴管理	点滴管理	点滴管理	点滴管理	点滴管理
		呼吸管理	呼吸管理	呼吸管理
		飲水テスト	飲水テスト	飲水テスト
点滴	点滴	点滴	点滴	点滴
				尿量管理
				尿量管理
				尿量管理
				尿量管理
				尿量管理
				尿量管理
				尿量管理
				尿量管理
				尿量管理
				尿量管理
				尿量管理

患者パス

多職種との関わり

- ▶ 薬剤師：内服薬内容の確認
ジェネリックへの変更
点滴の内容確認 抗生剤の内容確認
- ▶ PT・OT：リハビリ内容の確認
治療内容の共有 } カンファレンスの実施
- ▶ 医療事務部：DPC・入院加算料の確認

入院加算料確認

半月板切除術

- ▶ DPC請求額平均 48万円
- ▶ 出来高置き換え額 46万円

前十字靭帯再建術

- ▶ DPC請求額平均 109万円
- ▶ 出来高置き換え額平均 109万円

パス委員会の活動状況



ミーティングによるパスの見直し



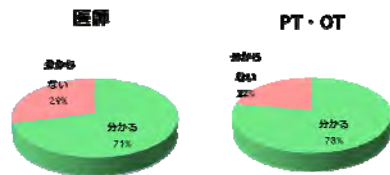
電子カルテのパス機能の説明

電子パス使用後アンケート調査

- ▶ 目的：電子パス使用についての現状把握
修正・検討内容の確認
- ▶ 対象：整形外科パスを使用する職員
看護師：整形外科病棟：16名
包括ケア病棟：16名
整形外科医師：7名
PT・OT：9名
- ▶ 内容：使用した電子パスについて

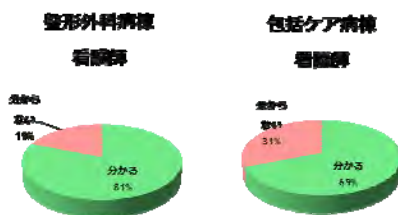
アンケート結果

電子パスの使用方法についてわかりますか



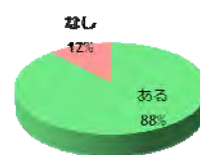
アンケート結果

電子パスの使用方法についてわかりますか



アンケート結果

電子パスのメリットはありますか



- ▶ 多職種と情報が共有できる
- ▶ パスのオーダーが反映され入力漏れがない
- ▶ パスの管理・確認がいつでもできる
- ▶ 電カルと連動しているため他の情報収集が早い
- ▶ 操作が楽なため、業務の効率化が図れる
- ▶ 当日の予定が把握しやすい

アンケート結果

バスで困ったことは ありますか



- ▶ 電子バスの操作方法が理解できない
- ▶ バスの必要性が分からない
- ▶ アウトカム評価の方法が分からない
- ▶ バリアンス発生時の対応方法が分からない
- ▶ 患者バスの出力方法が分からない
- ▶ バス内容の修正方法が分からない

考察

- ▶ 電子化でアウトカム志向バスへ移行、業務の効率化が図れ、早期の情報収集、多職種との連携も回りやすくなった
 - ▶ 紙バスから電子バスへ移行する為には、ベンダーとの連携が必要であった
- 今後の課題**
- ▶ 電子バス操作方法について定期的に勉強会を行い知識や技術の向上に努める
 - ▶ アウトカムとバス内容の整合性の評価とバリアンス集計・分析も実施し、バスを修正していく

まとめ

- ▶ 当院での紙バスから電子バスへの移行についての活動について報告した
- ▶ バスを電子化し、使用後のアンケート調査、意見の分析・評価を行い、今後の課題を検討した

ご清聴ありがとうございました。

